

第3小委員会

算 数

報 告 書

令和5年7月19日

第12地区教科書採択教育委員会協議会長 菅野勇次様

第12地区教科書採択調査委員会第3小委員会委員長 佐々木敦史

先に諮問のあった令和6年度から使用する小学校用教科用図書について、算数の教科書見本本の調査研究結果を次のとおり報告します。

記

1 調査研究の経過

第1回調査委員会（6月28日）

- (1) 配付された6者の教科書について、調査研究の観点や手順を協議した。
- (2) 各者の教科書を調査研究し、次回の選定委員会での検討資料とすることを確認した。

第2回調査委員会（7月7日）

- (1) 調査研究の観点や手順に基づいて作成した調査研究資料について協議した。
- (2) 報告書作成のための準備を行い、次回の調査委員会での協議内容を確認した。

第3回調査委員会（7月14日）

- (1) 作成してきた報告書について、作成の趣旨に基づき協議した。
- (2) 配付された6者の教科書について、報告書を作成した。

2 調査研究の方法

発行者から送付された教科書見本本について、以下の調査研究の観点に基づき、「教科書編修趣意書」及び北海道教育委員会が作成する「採択参考資料」を参考として行った。

ア 「取扱内容」について

- ・学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容及び学年・分野・領域等の目標、内容等に基づいて、正確、適切に取り上げられているか。

イ 「内容の構成・排列・分量等」について

- ・内容の構成が、地域の実態や児童の生活経験及び興味・関心などに配慮されているか。
- ・内容の排列が、学年の発達段階に応じて、体系的、発展的に組織されているか。
- ・内容の分量が、各分野や領域ごとに適切におさえられているか。

ウ 「使用上の配慮等」について

- ・児童の学習意欲を高める工夫がなされているか。
- ・自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているか。
- ・目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は配慮されているか。

3 見本本の総合所見

(1) 東京書籍 「新編新しい算数」

- ・「主体的・対話的で深い学び」では、生活を見直すために班で別れて課題を設定し、見通しをもたせるとともに、現状を数値で把握し、より詳しく調べるためにグラフや表を活用して気付いたことを話し合い、考えを広げたり深めたりする活動（第4学年）が取り上げられている。
- ・「使用上の配慮」では、「つないでいこう算数の目」や「算数マイノートを学習に生かそう」で、次に学習してみたいことを想起する子どもの姿を例示したり（全学年）、コラム「ますりん通信」で、算数の学習に関する多方面からの話題や見方・考え方などを取り上げたり（第2～6学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。

(2) 大日本図書 「新版たのしい算数」

- ・「主体的・対話的で深い学び」では、10の位が割り切れない割り算の計算方法（ $72 \div 3$ ）を、班に分かれて多様な解決方法を比較検討しながら話し合い、まとめるなどして、考えを広げたり深めたりする活動（第4学年）が取り上げられている。
- ・「使用上の配慮」では、単元の導入コーナーで、児童自身が問題や疑問を見出す題材を扱ったり（全学年）、「ふくろう先生になるほど算数教室」で、算数が社会で生かされていることを実感できるように、算数を生かして仕事をされている方へのインタビューを掲載したり（第3～6学年）するなど児童の学習意欲を高める工夫がなされている。

(3) 学校図書 「みんなと学ぶ 小学校 算数」

- ・「主体的・対話的で深い学び」では、折れ線グラフの学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、棒グラフとの違いを考えたり、折れ線グラフのよさについて話し合ったりするなどして、考えを広げたり、深めたりする活動（第4学年）が取り上げられている。
- ・「使用上の配慮」では、見方・考え方を「考え方モンスター」としてキャラクター化し、児童が使いたくなるようにしたり（全学年）、「算数をつかって」で、問題解決の仕方を活用してSDGsに関わる課題に取り組むことができたりと、児童が学びを深められるような工夫がなされている。（全学年）

(4) 教育出版 「小学算数」

- ・「主体的・対話的で深い学び」では、平面図形の面積の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、L字型の図形の面積の求め方を考えたり、考えを図や式を用いて説明したりするなどして、考えを広げたり深めたりする活動（第4学年）が取り上げられている。
- ・「使用上の配慮」では、単元の導入で身近な題材から算数の問題を発見し、目的意識をもって数学的活動に取り組めるようにしたり（全学年）、単元末で、学習したことを日常場面に活用し、「何ができるようになったか」実感できるようにしたり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。

(5) 啓林館 「わくわく 算数」

- ・「主体的・対話的で深い学び」では、概数と四捨五入の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、概数で和や差を求める方法を考えたり、計算の仕方を説明したりするなどして、考えを広げたり、深めたりする活動（第4学年）が取り上げられている。
- ・「使用上の配慮」では、学年の最後に「学びを生かそう『わくわく SDGs』』という学んだことを生かして自分たちに何ができるか考える活動を取り入れたり（第3～6学年）、児童の気づきを「めばえ」として掲載し、児童から「めあて」を引き出す授業展開ができるように構成したり（第2～6学年）するなど、主体的かつ発展的に学習に取り組めるような工夫がなされている。

(6) 日本文教出版 「小学算数」

- ・「主体的・対話的で深い学び」では、除法の学習において、今までに習った除法の計算との違いを考えたり、考えの共通点や相違点について話し合ったりするなどして、考えを広げたり深めたりする活動（第4学年）が取り上げられている。
- ・「使用上の配慮」では、第2～6学年で、「算数マイトライ」で理解度、学習の目的に合わせて様々なジャンル・難易度の問題を掲載したり、全学年で「使ってみよう」で作業的・体験的な活動や学習したことを実際の場面に活用する活動の充実を図ったりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がされている。

4 その他

別紙様式1

観 点	番 号	発 注 の 番 号・略 称	使 用 学 年	発 注 の 番 号・略 称	教 科 書 名
取 扱 内 容	2・東書		第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	算数・112、算数・113 算数・212、算数・213 算数・312、算数・313 算数・412、算数・413 算数・512、算数・513 算数612	新編あたらしいさんすう1⑩はじめよう!さんすう、新編あたらしいさんすう1⑫みつけよう!さんすう 新編新しい算数2上考えるっておもしろい!、新編新しい算数2下考えるっておもしろい! 新編新しい算数3上考えたことがわかるね!、新編新しい算数3下考えたことがわかるね! 新編新しい算数4上考えたことがわかるね!、新編新しい算数4下考えたことがわかるね! 新編新しい算数5上考えたことがわかるね!、新編新しい算数5下考えたことがわかるね! 新編新しい算数6数学ジャンプ!
内 容 の 構 成 ・ 排 列 分 量 等					<ul style="list-style-type: none"> ○ 数と計算については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・計算の意味と性質を理解するとともに、数の表し方や計算の仕方などを考察する力の育成に向け、乗り物に乗っている人数を求めたり、かけ算の式になるおはじきの並べ方を考えたりする活動(第2学年) ○ 変化と関係については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだして、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力の育成に向け、同じ直方体を積み上げた高さの変わり方を調べたり、うさぎ小屋の込み具合を比べたりする活動(第5学年) ○ 図形については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・図形の意味について理解するとともに、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、図形の性質について考察する力の育成に向け、複数の図形を仲間分けしたり、拡大図のかき方を考えたりする活動(第6学年) ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・生活を見直すために班で別れて課題を設定し、見通しを持たせるとともに、現状を数値で把握し、より詳しく調べるためにグラフや表を活用して気付いたことを話し合い、考えを広げたり深めたりする活動(第4学年)
使 用 上 の 配 慮 等					<ul style="list-style-type: none"> ○ 「つないでいこう算数の目」や「算数マイノートを学習に生かそう」で、次に学習してみたいことを想起する子どもの姿を例示したり(全学年)、コラム「ますりん通信」で、算数の学習に関する多方面からの話題や見方・考え方などを取り上げたり(第2～6学年)するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 学習意欲を高め、理解を深めるシミュレーションや動画等のデジタルコンテンツに教科書の二次元コードからアクセスでき、第1学年の第1分冊をA4判とし、ノートの機能を備え綴じ方を改良し、ブロック等を無理なく置くことができるようにしたり、図やグラフにカラーバリアフリーへの配慮をしたりするなど、使用上の便宜が図られている。
そ の 他					<ul style="list-style-type: none"> ○ 北海道とかかわりのある資料を第5学年で2箇所、第6学年で2箇所取り扱っている。 ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

別紙様式1

観 点	番 号	発 注 の 番 号・聯 絡	使 用 学 年	発 注 の 番 号・聯 絡	教 科 書 名
取 扱 内 容	4・大日本		第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	算・114、算・115 算・214 算・314 算・414 算・514 算・614	新編のいさんずう1ねん①、新編のいさんずう1ねん② 新編のい算数2年 新編のい算数3年 新編のい算数4年 新編のい算数5年 新編のい算数6年
内 容 の 構 成 ・ 排 列 分 量 等					<ul style="list-style-type: none"> ○ 数と計算については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 計算の意味と性質を理解するとともに、数の表し方や計算の仕方などを考察する力の育成に向け、乗り物に乗っている人数を求める式を立てたり、おはじきや身の回りにある物の並べ方を考えたりする活動（第2学年） ○ 変化と関係については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだして、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力の育成に向け、水槽に水を入れる時間と深さの関係を調べたり、ドッジボール大会の成績を比べたりする活動（第5学年） ○ 図形については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 図形の意味について理解するとともに、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、図形の性質について考察する力の育成に向け、アルファベットを仲間分けしたり、拡大図や縮図のかき方を考えたりする活動を通して、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、図形の性質について考察する力を育成する。（第6学年） ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 10の位が割り切れない割り算の計算方法（$72 \div 3$）を、班に分かれて多様な解決方法を比較検討しながら話し合い、まとめるなどして、考えを広げたり深めたりする活動（第4学年）
使 用 上 の 配 慮 等					<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の導入コーナーで、児童自身が問題や疑問を見出す題材を扱ったり（全学年）、「ふくろう先生のなるほど算数教室」で、算数が社会で生かされていることを実感できるように、算数を生かして仕事をされている方へのインタビューを掲載したり（第3～6学年）するなど児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 動画や学習内容の振り返り等ができるデジタルコンテンツが利用できる配慮がされている。入学初期の学習内容をA4判で分冊化し、フラットに開きやすくすることでブロックを置く活動をしやすくしたり、カラーユニバーサルデザインの観点から色覚の特性によらず情報が読み取れるよう配慮をしたりするなど、使用上の便宜が図られている。
そ の 他					<ul style="list-style-type: none"> ○ 北海道とかかわりのある資料を第5学年で1箇所、第6学年で1箇所取り扱っている。 ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

別紙様式1

番号	著者の氏名・題名	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	観点	17・教出	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	算数・118 算数・218、算数・219 算数・318、算数・318 算数・418、算数・418 算数・518 算数・618
取扱内容	<p>○ 数と計算については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算の意味と性質を理解するとともに、数の表し方や計算の仕方などを考察する力の育成に向け、乗り物ごとに乗っている人数を求めたり、おはじきを使ってかけ算に表したりする活動（第2学年） <p>○ 変化と関係については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだして、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力の育成に向け、直方体を積み重ねてできた直方体の高さや体積の関係を表に表したり、表や式のよさについて話し合ったりする活動（第5学年） ○ 図形については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・図形の意味について理解するとともに、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、図形の性質について考察する力の育成に向け、大きさは違っても同じ形を見つけたり、拡大図や縮図のかき方を考えたりする活動（第6学年） ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・<u>平面図形の面積の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、L字型の図形の面積の求め方を考えたり、考えを図や式を用いて説明したりするなどして、考えを広げたり深めたりする活動（第4学年）</u> 			
内容の構成・分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加法、減法の学習において10のまとまりを作る学習の後に、1位数+1位数で繰り上がりのある加法の学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（第1学年） ・分数の意味と表し方の学習において、単位分数の学習の後に、同分母分数の加法の計算の仕方を考える学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（第3学年） <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年 総ページ数190ページ、前回より約4%増 ・第3学年 総ページ数310ページ、前回より約3%増 			
使用上の配慮等	<p>○ <u>単元の導入で、身近な題材から算数の問題を発見し、目的意識をもって数学的活動に取り組めるようにしたり（全学年）、単元末で、学習したことを日常場面に活用し、「何ができるようになったか」実感できるようにしたり（全学年）</u>するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ UDデジタル教科書体を使用したり（全学年）、識別しやすい配色を用い、図版に色名を付記したり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、毎時の知識・技能まとめをアニメーションにして、視覚的にも理解が深められるようにするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
その他	<p>○ 北海道とかかわりのある資料を第5学年で4箇所、第6学年で1箇所取り扱っている。</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>			

別紙様式1

番号 観 点	著者の氏名・題名	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観 点	61・啓林館	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	算数・120、算数・121 算数・220、算数・221 算数・320、算数・321 算数・420、算数・421 算数・520 算数・620	わく わく1 わく わく1 わく わく2上 わく わく2下 わく わく3上 わく わく3下 わく わく4上 わく わく4下 わく わく5 わく わく6
取 扱 内 容	<p>○ 数と計算については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算の意味と性質を理解するとともに、数の表し方や計算の仕方などを考察する力の育成に向け、乗り物ごとに乗っている人数を求めたり、かけ算になるような問題を作ったりする活動。(第2学年) <p>○ 変化と関係については、目標を達成することができるよう、次のような活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだして、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力の育成に向け、レンガと植木鉢の積む数と全体の高さの関係を表に表したり、和暦と西暦の関係について調べたりする活動(第5学年) <p>○ 図形については、目標を達成することができるよう、次のような活動を取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図形の意味について理解するとともに、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、図形の性質について考察力の育成に向け、アルファベットを仲間分けしたり、方眼を使って拡大図や縮図をかくたりする活動(第6学年) <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概数と四捨五入の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、概数で和や差を求める方法を考えたり、計算の仕方を説明したりするなどして、考えを広げたり、深めたりする活動(第4学年) 			
内 容 の 構 成 ・ 排 列 分 量 等	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時刻の読み方の学習において、短針に着目して時計を読む学習の後に、長針に着目して読む学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫(第1学年) ・除法と乗法の学習において、基準量の何倍かということを考える学習の後に、分数の意味と表し方の学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫(第3学年) <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年 総ページ数196ページ、前回より約10%増 ・第3学年 総ページ数282ページ、前回より約7%減 			
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 学年の最後に「学びを生かそう『わくわくSDGs』』という学んだことを生かして自分たちに何ができるか考える活動を取り入れたり(第3～6学年)、児童の気づきを「めばえ」として掲載し、児童から「めあて」を引き出す授業展開ができるように構成したり(第2～6学年)するなど、主体的かつ発展的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 識別しやすいUDフォントを使用したり(全学年)、色覚の特性によらず学びやすい配色を用いたり(全学年)するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、具体物の操作では時間のかかる創造的な活動も簡単に行えるようにするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
そ の 他	<p>○ 北海道とかかわりのある資料を第2学年で1箇所、第4学年で3箇所、第5学年で10箇所、第6学年で4箇所取り扱っている。</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>			

別紙様式1

番号 観点	著者の氏名・職	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観 点	116・日文	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	算数・122、算数・123 算数・222、算数・223 算数・322、算数・323 算数・422算数・423 算数・522 算数・622	しょうがくさんすう1①、② 小学算数2上、小学算数2下 小学算数3上、小学算数3下 小学算数4上、小学算数4下 小学算数5 小学算数6
取 扱 内 容	<p>○ 数と計算については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算の意味と性質を理解するとともに、数の表し方や計算の仕方などを考察する力の育成に向け、乗り物に乗っている人数を求めたり、九九表から決まりを見つけたりする活動（第2学年） <p>○ 変化と関係については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表やグラフに表す技能を身に付けるとともに、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだして、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力の育成に向け、直方体を積み重ねてできた直方体の高さと体積の関係を表に表したり、二つの量の関係を表す方法を考えたりする活動（第5学年） <p>○ 図形については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図形の意味について理解するとともに、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、図形の性質について考察する力の育成に向け、複数の図形を仲間分けしたり、方眼を使って拡大図や縮図をかいたりする活動（第6学年） <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>除法の学習において、今までに習った除法の計算との違いを考えたり、考えの共通点や相違点について話し合ったりするなどして、考えを広げたり深めたりする活動（第4学年）</u> 			
内 容 の 構 成 ・ 排 列 分 量 等	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加法、減法の学習において、10を作る計算や10より大きい数などの既習事項を確認する学習の後に、1位数+1位数で繰り上がりのある加法の学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（第1学年） ・乗法の学習において、乗法に関して成り立つ性質を考える学習の後に、加法に関して成り立つ性質と乗法に関して成り立つ性質の共通点を考える学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（第3学年） <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年 総ページ数308ページ、前回より約1%減 ・第3学年 総ページ数324ページ、前回より約7%増 			
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ <u>「算数マイトライ」で理解度、学習の目的に合わせて様々なジャンル・難易度の問題を掲載したり（第2～6学年）、「使ってみよう」で作業的・体験的な活動や学習したことを実際の場面に活用する活動の充実を図ったり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫</u></p> <p>○ 視認性の高いUDフォントを教科書体やゴシック体にも採用したり（全学年）、図形に使う色数を抑え、目に優しい色を使用したり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、アニメーションや自分で操作できるコンテンツで理解を深めるようにするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
そ の 他	<p>○ 北海道の素材を、第5学年で7箇所、第6学年で1箇所取り扱っている。</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>			